

令和3年度 第2回向日市男女共同参画審議会 議事要点録

○ 日 時 令和4年3月22日（火）午後2時10分から4時00分まで

○ 場 所 向日市役所本館 3階 第7会議室

○ 出席者

（委員）

岩野委員、大東委員、高山委員、竹井委員、松野委員、宮川委員

（事務局・説明員等）

ふるさと創生推進部 鈴木部長、広聴協働課 小畑課長、上地主査

○ その他出席者

傍聴者 なし

○ 会議概要

議事内容

令和3年度男女共同参画推進事業報告について

令和3年度男女共同参画推進事業報告について事務局から説明を行った。

【意見の要旨】

一議事内容について一

委 員：くらし役立ちセミナーについて中止とあるが、今後の開催について検討されていることはあるのか。

事 務 局：他の案件は延期のものもあるが、当事業は中止として今後についての検討はしていない。

委 員：男性のための相談事業についてであるが、女性のための相談についても多くの方が来られて解決することがあると思うが、男性は家庭で相談する方が少ないと思われるが、相談があった内容はどのようなものであったか。

事 務 局：詳しくは話せないが、家庭のことや夫婦関係での相談があった。

会 長：やはり相談件数が少ないということは周知されていないということなのか。

事 務 局：事業実施時に、広報誌とホームページ、回覧で周知を行った。

また、広報誌の毎月の相談日程には載せているが、別枠で改めて掲載することなどは行っておらず、継続しての周知といった点ではできて

いないため、目にとまりにくいような状況ではあると考えられる。

会長：次年度も継続するのであれば、周知の方法を再度検討し、継続して実施することで利用者の増加につながるとよい。

委員：男性のため相談については、今年度初めてということではなかなか相談される方が少ないとのことだが、女性のための相談だと、カードを作って女性用トイレに配架されているかと思うが、男性のための相談はされていない。

ちなみに、愛知県では、男性のDV相談事業のカードがコンビニに置いてあり、人目を気にせずパッと手に取り、相談したいことがあれば相談できるように感じた。

そのため、男性のための相談についても、情報を手に取りやすいようなところに置いておくということを検討いただければと思う。

事務局：ご意見のとおり広く周知ができるよう検討する。

委員：女性活躍センターの事業において集まれた方の中に、趣味の範囲でなく収入になるような事業をされている方がいるのであれば、そういった方が相談役として、今後起業を考えている方向けにアドバイスができるような会を作ってみてはいかがだろうか。

事務局：今年度については、あすもあマルシェということで出店とワークショップの計3回開催したが、来年度は回数を4回に増やして、あすもあマルシェを開催する予定である。

その中でマルシェをするだけでなく、マルシェを出展された後に、出展された方が集まって、今後のビジョンについてディスカッションしていただくことを考えている。

委員ご提案の相談会は考えていなかったが今後の参考にする。

会長：岩野委員がPTAをやっておられたが、活動されている方同士での繋がりができるようなイベントなどがいいか、活動についての紹介をいただきたい。

委員：PTAの講座においても、コロナ禍であるため定員を削減したことから広く周知することすらできない状況の中で、今年度はLGBTやアンガーマネジメントについて講演していただき、普段聞けないような内容を勉強できる貴重な機会となった。

来年には市民会館が完成し、コロナの感染者数も落ち着き、もっと多

くの方に参加していただける状況になれば、横の繋がりを使って色々な媒体で周知することができるのではないかと考える。

あすもあについてだが、一般の方の認知度がまだまだ不十分であると感じている。

駐車場・駐輪場の場所から始まり、何をしているところなのかが分かっていない。

書道の発表会で利用されているとのことだが、そういった使い方ができるとことを知っていれば、あすもあを利用する選択肢が出るかもしれないが、一般の方はそういったことも知らないと思うため、利用内容の周知が必要だと思われる。

また、生理用品の配布についてだが、コロナで様々な PTA 事業が中止になった結果、PTA の予算が貯まっていく一方であったため、コロナ禍において必要なものに充てようということになり、マスクや消毒用アルコールなどにも使ったが、生理用品についても候補として挙がっていた。

ただ、保健室に常備されていることや、PTA 会費ではなく市が購入するものではないかという意見もあったため、購入までいたっていないが、配布を継続して行い、やはりこの事業についても知らない方が多くいると思われるため、コロナ禍で困っている方の手に届くよう周知に努めていただきたい。

会 長：テーマが重なった事業が市役所の各部署であるのであれば、双方で周知できれば、市民が色んなところで情報に接することができて、より一層効果的である。

委 員：基本的に土日に講座を開催していると思うが、土日勤務の方ももちろんおられるため、開催日時についても検討いただきたい。

委 員：講座の参加者は複数の講座に来られているのか、新しい方なのか、また、参加された後にどのような活動に繋がっているのか把握していることはあるのか。

事 務 局：同じ方が複数の講座に参加されていることはない印象である。

参加者がどのような活動に繋がっているのか掴めてはいないが、女性活躍センターで行っている事業に関しては、イベントの参加者として来られていた方が次のイベントで講師として話されているようなこと

は見受けられる。

委員：講座に参加された方は興味を持って来られていると考えられるため、そういった方への次に繋がるような取組を検討する必要がある。単発で行うのではなく、それぞれの事業が関連して結びつくことができるような工夫を検討いただきたい。

事務局：講座を実施する際、次の事業のチラシなどが完成していれば配布することはあるが、講座の間が空いてしまい、効果的な周知に至っていないことが多いため、スケジュールの見直しが必要と考えている。

委員：コロナ禍において参加人数を絞られているかと思うが、オンラインで配信することができれば、会場にまで行くことはないが家であれば見たい方などもおられると思うため、より多くの方に参加いただけるのではないか。

事務局：オンライン配信ができないか講師に打診したことがあったが、一部のみ切り取られたりする可能性があるため対応できないということがあった。

ただ次年度以降は、委員のご指摘のとおりなるべく多くの方に聞いていただけるような環境を整えたいと考えている。

会長：オンライン配信のイベントも増えてきており、参加者側も慣れてきているため、検討いただきたい。

また、いきいきフォーラムを今年度はイオンモールで開催し 74 名の方が参加されたとのことだが、どのような方が来られたのか、偶然イオンモールを通りかかって参加された方がいるのかなどの参加者属性は把握しているのか。

事務局：詳細は把握していないが、広報を見ていただいた方や、ホール前にポスターを掲出していたりしたので、それを見て来られたという方も中にはおられた。

委員：アンガーマネジメントの講座に私も参加し、長岡京市でも講座を開催し若いママに人気がある講師であるため今回もそうかと思っていたが、割と高齢の女性が多かった。

若い方でも関心のあるテーマであったため、色んな世代への周知が行き渡っているのか、広報の方法に工夫が必要なのではないだろうか。向日市の公式 LINE を登録しているが、イベントがあると通知があり、

クリックすることで内容が詳しく分かるようになっているため、便利だと思っている。

若い方であればやはり LINE などは使われているはずなので、そういった広報媒体の工夫も必要である。

事務局：若い方への広報としては LINE が適切であると考えており、今年度のイベントについてもほとんど LINE に載せていた。

紙媒体としては広報誌で周知し、LINE や女性活躍センターのInstagramに掲載しているが、なかなか実際のところ若い方の参加者が少ない現状である。

会長：あすもあの公式ホームページもできるということなので、そちらも活用いただきたい。

委員：PTA の講座を YouTube で配信し、5 日間ほどで 200 回ほど再生があったため興味を持たれた方に見ていただけたと考えている。

Zoom などのオンライン配信への対応が難しい方でも、YouTube を見るのであればハードルは下がるのではないだろうか。

また、LINE の配信についても興味のない方は見ないだろうが、まず目に止まる必要があるため有用だと考える。

委員：YouTube については、大学教員は毎日のように動画撮影と配信をしており先生方は慣れていると思うため、ご検討いただきたい。

会長：市でやる事業は、編集した動画を YouTube とまではいかななくても、集まれる方は会場まで来ていただいて、遠方にいる方や体調不良で行けない方などは、同時配信で参加できるような取組が必要かと考える。

委員：女性に対する暴力を無くす運動関連講座の「DV の加害者にも被害者にもならないために」といった内容は興味がある人も多そうだが、どうして参加者が少なかったのだろうか。

事務局：中学生以上の方に来ていただきたかったため、全中学校に個別にチラシの配布なども行ったが、成果には結びつかなかった。

委員：親のみ、子どものみ、親と子どもどちらも参加といった PTA の講座を行ってきたが、ここ数年で一番多かったテーマがスマホについてである。

以前はスマホを持たせるのか持たせないのか、といった内容であったが、今は持っていることは前提でどのようなルールにするのか考える

内容になっている。

それと同じように中学生以上のDVについても今後関心を持つ方が増えていく内容であると思われるため、例えば学校に講師の方に来ていただいて開催することを検討すると多くの方に参加いただけるのではないかと考える。

委員：女性活躍センターの認知度は実際のところ上がってきているのか。

事務局：統計は取っていないので詳細は不明だが、先日開催したあすもあ発表会においては、今まであすもあに来たことがないという方が100名ほど来ていただけたことがあったので、今までとは違うような取り組みで一度足を運んでいただくことが必要かと考えている。

また、あすもあを企業の面接会場として利用されていることが増えてきており、利用者に聞くと向日市内で面接会場に使えるような場所がなかなか無いため利用したなどの声があるため、利用の内容が少し変わってきていると感じている。

会長：様々な形で利用され認知度が上がることは非常に良いことである。

企業や保護者などの利用者が、あすもあを訪れ、置いているパンフレットなどに目を止めていただくなど、色々な繋がりができればよりよくなると思われる。

会長：本日の議題については以上で審議終了とする。

事務局から次回の日程について説明をお願いしたい。

事務局：今年の8月ごろに審議会を開催予定である。日程調整のうえ開催する。